未来に夢や希望をもち、生きる力を育むふるさと輪之内の教育 ◇ 輪之内町の基本理念 学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする

◇学校の教育目標

ひろい心をもち 豊かに表現できる子

〇主体的に学び、仲間と高め合える子

- 〇自己を見つめ、助け合える子
- ○願いをもって、進んでやり抜く子

◇願う学校像

「楽しい学校」~笑顧・やる気・自信~

~温かく、明るく、安心・安全な学校、(児童が)行きたい、(教職員 が)働きたい、(保護者が)通わせたいと思える学校の創造~

- ◇ 学校経営の方針(◎2)と○6
 - ◎ 学校の教育目標の具現に徹する学校の経営
 - ◎ 一人一人のよさを引き出し、生かし、伸ばす意図的・継続的な指導・支援の推進
 - ○健康安全教育 ○学級経営 ○学習指導 ○道徳人権教育 ○家庭・地域との連携 ○働き方改革
- ◇ 指導・支援の基本=「願いをもって取り組む姿からよさを引き出し、徹底的に褒める。」

目指す児童の姿 具現の場 組織 評価指標と目標数値

☆豊かな表現力

〈主体的に学び、仲間と高め合える子〉 ○学ぶ楽しさや分かる喜びを実感できる 授業実践

- 児童が主体となって楽しく学ぶ授業 の創造
- ・導入・追究・交流の場の効果的な位 置づけ、教科担任制の実施
- 学習の基盤としての「話し方・聞き 方名人」・「話し合い名人」・「ノート づくり名人」、「家庭学習」の意図的 継続的な指導の充実

〇ICTの効果的な利活用

- ・タブレット端末の効果的な利活用
- 情報モラル教育の推進

○読書の習慣化

- ・読解力を育む読書活動・啓発 (朝読書、ビブリがり 等)
- 情報活用力を育む「みのりルーム」の積極 的な利活用(出番・総合的ご学習の時間まごころタイム)等

教務・情報・図書

研究推進委員会(教務・研究主任)

- ・授業がよく分かる・・・90%以上
- ・積極的なICT活用・・90%以上
- ・積極的な読書・・・・・85%以上

☆ひろい心

〈自己を見つめ、助け合える子〉

〇相手の立場に立って考え行動する活動の

- 学級のなかよし宣言の取り組み
- 「よいこと見つけ」、「ひびきあい活動」 の取り組み
- ・「かがやきボランティア」活動

○伝統の「明るいあいさつ・もくもく掃除」 を柱とした校風づくり

〇みんなのために取り組む係活動・児童会 委員会活動の充実

- 一人一人がリーダーとして活躍(高学年)
- 一人一人の係活動の充実(中学年)
- 一人一人の当番活動のやりきり(低学年)

☆たくましい心と体

〈願いをもって、進んでやり抜く子〉

〇めあてをもってやり抜く活動の推進

5ステージ毎や行事等での願い・振り 返りの場の設定

〇自他を大切にする心の育成

- 「ぎふ いのちの教育」の充実 (SOS の出し方教育、命を守る訓練、通 学班指導 等)
- ・ 教育相談の充実 (教育相談アンケートのエ **夫**、いじめ・登校しぶり・問題行動の 未然防止)、情報共有、組織対応

○健やかな心と体づくり

- 「生きる力を育む歯と口の健康づくり」 の成果を活かした取組
- 体力向上の取組の推奨(出前授業・児 帝会活動 等)
- 「みんなで遊べる子」にするための学 級遊び、「なかよし班」遊びの推奨(教 師も一緒に

生指・特活・保健・教育相談・防災

- ・困ったことや悩みの相談・・90%以上

特活・道徳・人権・美化

- ・学校が楽しい・・・・・90%以上
- ・自己肯定感・有用感・・・90%以上
- ・相手を大切にする言動・・90%以上

養教・(栄養) ・めあてをもってやり抜く・・90%以上

- ・体力づくり・1日3回歯磨き・・・90%以上

自信と誇りを育むコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進

◇地域〈学校運営協議会、地域関連諸機関との協働〉

- 「ふるさと・ふれあい学習」における地域講師や公共施設の活 用等、豊かな体験活動への支援(「まごころタイム」、運動会、 校区コミュニティフェスタ、読み聞かせ 等)
- ・登下校の見守り隊、スクールサポーターなどの見守り体制の充実
- ・こども園や町内小中学校との連携(こ小中交流、交流学習等)
- ・主任児童委員、民生委員の定期訪問 など

◇保護者 〈家庭教育力の向上・学校、地域との連携〉

- 自己肯定感、思いやりの心の育成
- ・望ましい生活習慣の定着(早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き、 挨拶、手伝い、仁木小情報モラル宣言 等)
- 家庭学習、読書習慣の確立(自主学習の手引き)

◇ めざす教職員

- ・願いをもち、みんなのために取り組む姿を認め価値付ける指導・ 支援で、一人一人のよさを引き出す。
- ・5ステージ各々の意図的な提案と PDCA サイクルよる見直しと改 善を行う。
- ・「学ぶ楽しさや分かる喜び」を実感できる授業づくりに、主体的に 取り組む。
- ・高い人権意識、危機管理意識をもち、保護者や地域とのコミュニ ケーションを密にする。
- ・組織人として明るく支え合い、磨き合える"チーム仁木R7"に する。
- 子どもにとって値打ちがあるかどうかを意識し、取組や指導業務 の効率化を進める。

学校評価 PDCAサイクルの確立

児童アンケート、教職員自己評価、保護者アンケート(7・12月)

学校関係者評価(2月)